ケアが希望になる政治へ

日本共産党 衆議院東京12区　田原 聖子通信

No.014　2025年12月号

発行・日本共産党衆議院東京12区
田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
☎5939-6581 FAX5939-6582

高市首相は戦争をあおるな

日中両国民に被害をもたらす“台湾有事”発言は撤回しかない



高市発言に対する抗議行動　＝11月21日、首相官邸前

高市首相は11月7日の衆院予算委員会で、台湾有事が「存立危機事態になりうる」と答弁、日本が中国に戦争を行う可能性があるとした発言は、国内外で深刻な外交問題に発展しています。日中両国国民に甚大な被害をもたらしかねない発言は、撤回する以外にありません。

11月21日、親しくしている北区在住の大学生など若者たちの市民グループが首相官邸前で抗議行動を行うことをSNSで知り、参加しました。「日本を危険にさらさないで」、「せんそうはんたい」などのプラカードが掲げられる前で、若者たちが高市首相の台湾有事発言に抗議の声をあげ続けます。参加した若者の中には、10年前、安倍内閣の下で強行された戦争法=安保法制に抗った元学生もいました。

司会の学生が「みなさん、一緒に憲法を読みましょう」と呼びかけると、集まっている若者たちはスマホを取り出し日本国憲法の条文を検索、「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し…政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し…この憲法を確定する」と、シュプレヒコールのように憲法前文と9条が読み上げられました。

補正予算で防衛費のGDP比2%前倒しを狙い、経済対策にまで「防衛力・外交力の強化」を柱にすえる一方で、国民が望む消費税減税や賃上げに背を向け、医療費4兆円削減など社会保障の大改悪を推し進めようとしている自民・維新の高市政権。平和も暮らしも脅かす危険な自民党政治を、一刻も早く終わらせなければなりません。

未来をつくる若者と力を合わせて、憲法が生きる平和な日本、平和な東アジアをめざします。

やるねー♪ 結ちゃん

ダウン症の子とともに、尊厳が尊重される社会をめざして

校庭の木々が色づき、日に日に深まる秋。高等部1年生の結ちゃんにとって、最大イベントは「文化祭」です。作品展の教室に行くと、結ちゃんのクラスは、ふきん・手ぬぐいの展示。花火のような絵柄が多く、色とりどりで豊かな感性があふれていて素敵です。けれど、結ちゃんの作品を探すと、なんと「アンパンマン」の柄。一緒に参加した夫と顔を見合わせて、「さすが。常に自由な心だね」と感心しました。

続いてはステージの見学へ。結ちゃんたちは、東京デフリンピックの年に合わせて国別のお料理づくりやソーラン節のダンスパフォーマンスを披露。人として自由に生きようとする一人ひとりの輝きは、いつも感動的で気が付くと涙がにじんでいます。

生産性が重視される社会で、子らの輝きと人間の自由への導きを重ねています。光のある未来を作り出していきたい。



アンパンマン柄の手ぬぐい

田原聖子の活動日誌


性教育授業の写真展にて　＝11月15日



日本共産党板橋区後援会主催の秋フェスタで　＝11月24日

親子カフェ



●12月21日(日)13:30～17:00
●会場: Tokyo12Haus 北区志茂2-53-7
14:00 Xmasケーキ作り(参加費200円)スタート

ご相談はお気軽に

- 生活：携帯代が払えない。家賃が高い。食費を削っている。
- 家族：家族やパートナーとの関係がつらい。子育てがつらい。
- 仕事：親の介護で働き続けられない。病気になった。

TOKYO 12 HAUS

日本共産党・田原聖子事務所
〒115-0042北区志茂2-53-7
電話 5939-6581 FAX 5939-6582
mail: kitachikutou@gmail.com